



# ハイブリッドクラウド 全体のデータ保護を 最新化

データを障害から保護

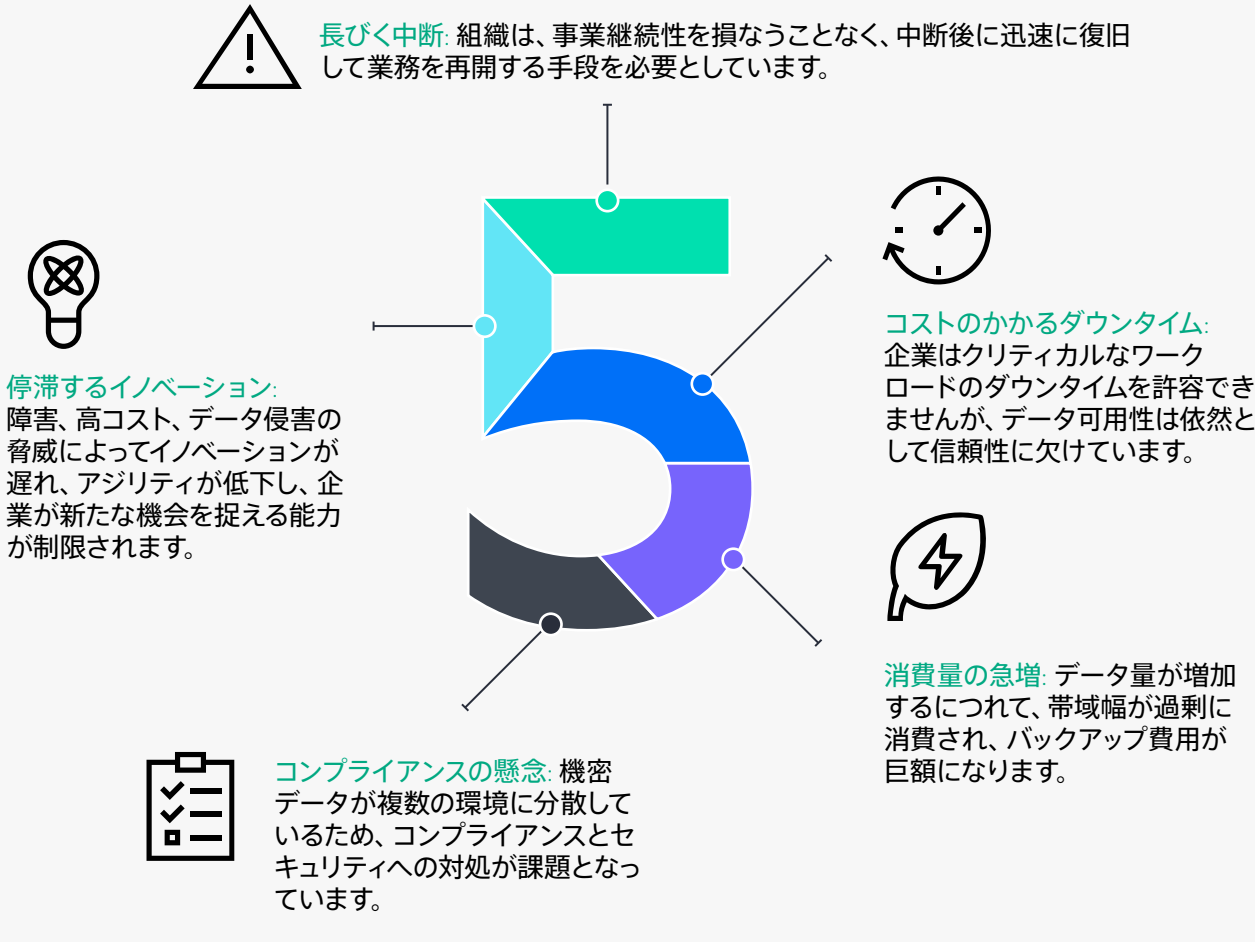
## 最新の脅威に直面している現代のワークロード

組織がプライベートクラウドとパブリッククラウドの利点を活用するためにハイブリッドクラウド環境を採用する中、堅牢なデータ保護は依然としてビジネスに不可欠な存在になっています。

ハイブリッドクラウド環境は柔軟性、拡張性、コスト効率に優れていますが、複雑なセキュリティ上の課題も生じ、大きな混乱を招く恐れがあります。



### データ保護に関する5つの課題



## 運用の合理化とセキュリティの強化

HPEが提供する最新のハイブリッド中心のデータ保護に対するアプローチは、従来の課題を排除し、エッジからクラウドまでの管理を統合できるように設計されています。

これにより、高速で信頼性の高いデータリカバリ、運用コストの削減、データロスとダウンタイムの最小化が実現し、変化を続けるセキュリティとコンプライアンスの要件に常に先んじて対応できるようになります。

- 1. 進化する脅威を軽減:**  
ランサムウェアやその他のマルウェアをリアルタイムで識別、無効化できる高度な脅威検出および対応ソリューション
- 2. 障害や運用の遅延を最小限に抑える:**  
自動フェイルオーバーおよびフェイルバックプロセスによってダウンタイムを短縮し、個々のファイルのリカバリから仮想化アプリケーション全体のリカバリにいたるまで、状況を問わずに事業継続性を維持
- 3. コスト効率の高い安全なアーキテクチャーを構築:**  
クラス最高のストレージ、コンピュー、ネットワーク、ソフトウェアを使用して迅速なエアギャップリカバリを可能にする統合型のオールインワンソリューション

## ワークロードをスムーズに実行するための、データ保護に関する3つの検討事項

データ保護を念頭に置いてハイブリッドクラウドエクスペリエンスをアップグレードしようとしている企業は、次の3つの要素を検討する必要があります。

- 1** オンプレミスとクラウドの両アプリケーションの保護、リカバリ、モビリティを合理化することで、常時稼働ビジネスを維持
- 2** 継続的なデータ保護 (CDP) によりデータロスとダウンタイムを最小限に抑え、業界をリードする復旧ポイント目標 (RPO) と復旧時間目標 (RTO) を実現し、数分以内での復元を実現
- 3** 分散型ゼロトラストアーキテクチャーにより、重要なデータを完全に保護

## ハイブリッドクラウド全体で、安全なデータ主導型ビジネスを受け入れる準備はできていますか？

HPEのハイブリッド中心のデータ保護ソリューションが、事業継続性やイノベーションを妨げることなく、さまざまな環境で重要なデータを確実に保護する方法をご覧ください。

詳細はこちら

[HPE.com/jp/ja/data-protection-products](https://hpe.com/jp/ja/data-protection-products)

HPE.comにアクセス

今すぐ電話

© Copyright 2025 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、すべて当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

a50011832JPN, Rev. 1

HEWLETT PACKARD ENTERPRISE

HPE

hpe.com